

ICT導入協議会（第22回）

議事概要

1. 開催日時：令和8年2月25日（水）14：00～16：00
2. 場所：中央合同庁舎3号館 11F インフラDXルーム（web会議併用）
3. 議事：

（1）トップランナー施策等について	資料－1
（2）中小建設業への普及促進方策について	資料－2
（3）技術基準類拡大（出来形・品質管理）について	資料－3
（4）建山議長からの情報提供	資料－4
（5）その他	資料－5

（概要）○委員、●事務局

（1）トップランナー施策等について

- ICT 舗装工及び ICT 地盤改良工について、原則化へ向けた措置として、発注者指定型の拡大・導入を実施する事を説明。
- 施工データの活用（ICT 施工 Stage II）の取組事例、アンケート結果、普及促進方策について説明。
- 施工データ集約・有効活用のための取組について説明。
- 遠隔施工等のサイバーセキュリティ対策検討WG（仮称）の設置について報告。
- チルトロータータ活用による効果及び、試行対象工種の拡大について説明。

【施工データの活用（ICT 施工 Stage II）に関する意見】

- ICT 施工 Stage II の事例は非常に面白いものが多いが、良い事例が上手く情報共有される仕組み作りは出来ないか。
- アンケート調査等により、多様な使い方や事例が集まりつつあるので、今後も新規事例があればアンケートや深堀調査を実施し、紹介していきたい。

【施工データ集約・有効活用のための取組に関する意見】

- 施工中に得られるデータについては、「どのようなデータを、どのような方法で取得すると、どのように活用できるのか」といった形で細分化して示されると現場としても分かりやすい。また、ICT 機械から得られるデータを活用していくことは、今後さまざまな取組に繋がると考えられる。
- 資料で示すとおり、今後検討していく。

(2) 中小建設業への普及促進方策について

- 地方自治体発注工事や、中小建設業受注工事の実態について説明。
- 新たな枠組みとして、工事規模や内容に応じて技術を選択できる「導入型 ICT 活用工事」の整備方針について報告。

(3) 技術基準類拡大（出来形・品質管理）について

- 民間からの提案技術の募集状況について報告。
- 出来形管理基準の見直し及び検討状況として以下を説明。
 - ・ ICT 法面工（植生基材吹付工）における吹付厚さへの 3次元計測技術を用いた出来形管理の適用拡大
 - ・ デジタルデータを活用した出来形管理資料作成の効率化
 - ・ 地上写真測量の精度確認作業の効率化
 - ・ LiDAR SLAM による出来形管理手法の検討
- 舗装工事における品質管理基準及び規格値（案）の改訂について説明。

(4) 建山議長からの情報提供

- 欧州における GX, DX, ICT 取り組みの動向について紹介。
- 建設における障がいのある人の就労推進について紹介。
- これからの建設現場のあり方として、建設現場の「隠す」から「魅せる」への取り組みについて紹介。
- ICT を活用した事項防止・安全向上の取組について紹介。
- 中小建設業における ICT 施工導入効果について紹介。

(5) その他

- 事務局より、以下の項目について報告・情報提供。
 - ・ 3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）令和7年3月版に沿った手法で実施される起工測量や出来形管理で行う測量は、基本的に公共測量に該当しないことを報告。
 - ・ ICT に関する補助制度について情報提供。
 - ・ 建設分野のフィジカル AI 活用推進 WG について情報提供
- （一社）日本建設機械施工協会より、ICT 施工の普及促進に関わる活動について情報提供。